



# 和泉市 消防団だより

## 2020年度全国統一防火標語 その火事を防ぐあなたに 金メダル

### 第7号

■和泉市消防団本部■  
 和泉市一条院町140-2  
 (代)0725-41-0119  
 (直)0725-41-6287  
 発行責任者  
 団 長 山本成男  
 編集責任者  
 副団長 吉村秀人

### 消防出初式



令和になって最初の和泉市消防出初式が、多くの来賓、市民の皆様ご来場のもと、穏やかな天候の中、令和二年一月十一日に黒鳥山公園で開催されました。

第一部の式典は開会宣言、集結報告、式辞、視閲及び表彰等が行われました。

その後は消防団車両による一斉放水が行われました。

今回は例年よりも放水時間を長くとり、放水角度を何度も変化させ、年頭を飾るに相応しい一斉放水となりました。

また、南横山小学校と幸小学校の少年消防クラブの子供たちもヘルメット・消防防火服姿で一斉放水に参加してくれました。



一斉放水



消防団と市民のふれあい

第二部は、恒例となりました消防団員と市民とのふれあいを実施し、消防車両、消防団員との記念写真や団員とのふれあいで、多くの方々に喜んでいただきました。

今年も火災が少なく、また災害も少ない平穏な年でありますようにとの願いを込めた出初式でした。

『令和三年出初式の中止について』  
 令和三年一月九日に予定していましたが出初式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

### 新型コロナウイルスと消防団活動について

和泉市消防団 団長 山本 成男

私達和泉市消防団においては、このたびの新型コロナウイルス感染症の収束が、現時点(九月上旬)では、非常に不透明であることから、消防団活動における感染拡大防止について、今一度以下の基本方針をもって対応する事と致しますので、よろしくご理解の程お願い申し上げます。

- 一、消防車両、資機材の点検整備は、最小限の人員(五名以下)で行うこと
- 二、会合や点検の際は、マスクの着用や換気を心がけ、三密(密閉・密集・密接)とならないよう注意すること
- 三、分団全員参加の訓練を実施する場合は、感染防止対策を徹底し実施すること
- 四、不要不急の会合は、中止もしくは延期すること
- 五、団員間での連絡事項は、やむをえない場合を除き、できるだけメール等で行うこと
- 六、体調不良の団員は、活動に参加させないこと
- 七、感染および感染疑いのある団員が出た場合は、事務局へ報告すること

この基本方針は、新型コロナウイルスの感染状況が、収束するまでの当面の運用としますが、状況により見直しが必要となった場合は、その都度周知します。

火災はもとよりさまざまな災害は、いっどこで発生するかわかりませんが、消防団は災害が発生すれば、今まで通り管轄分団を中心に出動していただきます。

新型コロナウイルス感染症問題の収束が見通せない環境下において、消防団としても大変動きづらいものがありますが、消防力の低下をきたさないように、和泉市民の安全と安心の確保のため、その使命を果たしていきたいと思っております。

新型コロナウイルスによる困難が一日も早く解決し、本来の日常生活に戻ることを祈念致します。

# 新消防長挨拶

和泉市消防長 山本 文昭



令和二年四月一日付で和泉市消防長を拜命しました山本です。  
和泉市消防本部の組織を担いますこととに責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いです。

本年度新しく入団された方々の入団式及び新入団員教養が新型コロナウイルスの蔓延防止のために中止・延期となりましたが、地域防災の担い手として、火災・風水害などの災害から市民の尊い生命・財産を守る使命感と崇高な郷土愛の精神のもとに入団された方々を頼もしく思います。

新型コロナウイルスの影響により、日本中を落胆させた東京オリンピック・パラリンピックは中止されることなく、来年に延期開催されるのは喜ばしい反面、外国からの玄関口を持つ泉州地域では最大限の水際対策の強化を図っていかなければなりません。

さて、今年の干支は「子年」に当たります。言い伝えでは何事もコツコツと、どれだけ険しい道のりでも、弱音を吐いたり諦めたりすることはないと言われている年ですので、皆様方におかれましても新型コロナウイルスにも負けずに忍耐強く付き合っていたきたいと思います。

さて、和泉市では防災体制の強化として四月一日に中央消防署が開設され防災対策が充実強化されました。しかし、昨今の災害状況を考えますと想定を超える多種多様な災害が発生し、当市の防災対策の充実・強化を図るだけでは減災に繋がりません。減災は、市民一人一人が日頃から災害に対する備えを充実していただき、自助・共助の精神を育んでいただくこと以外ありません。

消防・防災に携わる皆様におかれましては、崇高な防災の精神を発揮され、より一層の知識技術の習得や訓練に精励されまして、共に「安全で安心して暮らせる和泉市」のために協力宜しくお願い致します。

# 防災訓練

令和元年十二月三日に和泉市が主催する防災訓練が南松尾はつが野学園にて開催されました。

開催当初に、警察・陸上自衛隊・大阪市消防局の防災ヘリコプターと消防防災機関の連携による災害想定訓練が披露されました。

参加者多数の中、上町断層帯地震による大規模地震が発生したことを想定し、安否確認・避難誘導・避難所設営・非常炊き出しの訓練が行われました。

住民体験型訓練として、初期消火・応急救護・煙体験・家具固定の訓練が消防団員の指導により行われました。会場には特殊車両の展示・起震車・緊急貯水槽・炊き出し用の試食等のコーナーも設置されました。

又、同日には和泉市内各校区においても、地域防災訓練が実施されました。



傷病者搬送訓練



初期消火訓練



放水訓練



開会式

# 山林火災想定訓練

令和元年十二月八日に第三分団、第四分団、第五分団の消防団及び和泉市消防職員との合同による山林火災想定訓練が、小川西農業団地において実施されました。

消防団員八十名、消防職員二十二名が参加し、防火水槽から火点までの約八百メートルを四ヶ所の中継点、約四十本のホースで延長し送水を行いました。中継点ではホース延長に合わせて水槽の位置を調整するなど順調に送水が行われ、予定通りに放水及びジェットシューターによる残火処理訓練を行うことが出来ました。

一方で、無線交信で問題があり、無線連絡体制の不備が抽出された有意義な訓練になりました。



第一中継点



第二中継点



残火処理訓練



# 和泉市中央消防署開署

令和二年四月一日に和泉市南部の防災拠点として、はつが野一丁目五十一番地一に中央消防署が開署しました。

庁舎棟は三階建てで、配置人員は三十八名、配置車両は六台です。煙体験スペースを完備した四階建ての訓練塔及び水防資機材並びに各種資機材の保管庫となる倉庫棟を配置しています。

また、太陽光発電設備、雨水利用設備、自家発電設備、受水槽、マンホールトイレ等の設備を備えています。



# 消防団員紹介

## 第一分団 分団長 藤田 正彦

消防団員になって何年経っただろう。近所の方が分団長になったか、町会役員になったからかは忘れたが、団員になって欲しいと年上の人が来たのを覚えている。

入団して最初に初任の教育を若部小学校で受けてから四人の分団長に任せ、その間に小型ポンプ操法の選手として二回出場させて貰いました。

分団長となり一分団も在籍中に多くの団員が入れ替わり一番古くなってしまいました。今は現場出勤もずいぶん減ってきて、若い団員には月例訓練で一連の流れを覚えてもらっています。

職業も会社員や個人事業をしていても地元で仕事をしていない団員が多くなって、昼間の出勤時は人数が少なくなっているのをどう対処していくのが課題です。

## 第二分団 班長 杉本 浩秋

平成二十二年に入団し十二年目を迎えました。私が在籍する唐国班は、和泉中央駅に隣接し、住宅地は未だ増加傾向です。地域の皆様が安心して暮らせるよう、消防団員として貢献出来ることを考え活動しています。火災出動に備えた消防車両の点検、自主放水訓練はもちろんのこと、近年は風水害への備え・警戒も重要な任務となっています。

地域の皆様との情報連携や、消防車での巡回パトロールにより地域の变化を捉え緊急時に備えています。これまでの消防団活動での経験や知識を活かし、若い世代の団員育成や技術向上に取り組み、相互成長し

たいと考えています。今後も、日頃の活動から地域の皆様に信頼される消防団を目指し、邁進してまいります。

## 第三分団 団員 大向 仁

四十五歳での入団となります。体力と行動力には多少自信があります。仕事が仕事柄、瞬時の行動対応は厳しいかもしれませんが。しかし、入団したからにはこれから始まる訓練・教育をしっかり受け、そこから様々な技術を身に付けて、そこから様々な技術を身に付けて自信を持って役割を全うし、また自身の色々な経験を生かして先輩の皆様と共に地域に密着した社会貢献が出来る様に頑張っていきたいと思っています。

ここ最近の気象の変化もあり、消防活動以外にも風水害による様々な活動も多くなると感じています。しっかりと準備と気持ちと気合を持って活動に精進して行きますので今後共、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 第四分団 団員 葛本 浩一

消防団に入団して、どういう活動をしているか知らず僕自身まだ地域に馴染めていないせいもあり戸惑うこともありましたが、消防団として活動し夏期訓練、防災訓練、定例訓練などの訓練を通して地域が一体となり災害に備えている事を知り、消防団が災害時に重要な役割を果たしていることも知りました。

そして、消防団として町内行事などに参加することで地域の様子もわかり団員のみならず色々な訓練を経験できた事で少しでも役に立てたのではないかと感じています。これからも、訓練、活動を通じて防災意識を高め頑張っていきたいと思っています。

## 第五分団 班長 仲谷 竜一

平成二十二年度に入団し十年目を迎え、今年度より小野田班班長を拝命致しました。

職場が地元ではなく、また勤務体制がシフト制のため、出勤要請時における活動機会は地元で働く団員に比べると少なくなりますが、五分団での月例訓練及び班単位で行う自主訓練にはシフト調整していただき、参加を心掛けています。

班の団員にも同様に要請し、訓練での知識の共有、機械器具操作の習得及び習熟に励んでいます。

出勤要請時の現場は騒然としており、団員への適切な指示ができなかった経験から、常日頃から分団内のコミュニケーションの大切さを実感しました。

近年、若年層の間では人間関係の希薄化が進んでおり、増して今年の新型コロナウイルスの影響により例年行われていた訓練や行事の中止が相次いでいます。人と人の距離は密にならないように求められています。心と心の距離は密となるように心掛けたいと思っています。

## 第六分団 班長 高橋 浩史

消防団に入団して七年目を迎えました。今年度は班長に任命され、一層身の引き締まる思いです。

入団後、火災はもちろん台風や豪雨災害に対して、出勤や待機を経験するうちに、自分の置かれている立場というものが非常に重要なものだと感じるようになり、今後一層責任感を持って活動しなければと思っています。

ただ、今年は新型コロナウイルスのパンデミックという未曾有の事態

が起き、消防団活動が中止や自粛となる期間もあり、歯がゆい思いがあります。

しかし、今後想定される災害はいつ来るかわからず、また毎年のように来る台風は待つてもくれません。地域住民の安心安全のためにできる限りの訓練をし、より一層防災意識を高め、第六分団各班と互いに協力し合って消防団活動に邁進していきたいと思っています。

## 第七分団 団員 仲野 正

日頃消防団活動にご協力、ご支援頂き誠にありがとうございます。さて私たち室堂班の活動についてお話しします。第七分団室堂班は北池田校区、いぶき野校区を担当しています。我が班は火災及び災害に備え毎月第二日曜日に巡回パトロール及び器具取り扱い点検、第四日曜日に放水訓練、機関訓練を定期的に活動しています。また町民グラウンドの清掃や室堂町のイベントの参加、年一回の地域防災訓練と年末の夜警など活動しています。

これらの活動を通じて昨今地震や水害が多い中、消防団として地域の安全、安心を確保するために各個人の仕事もありながら地道に活動していきたいと思っています。

## 第八分団 班長 中川 義昭

平成二十三年度に入団し九年目を迎えます。

私は和泉市で生まれ育った四十七年間、たくさんの人に見守られ助けられてきました。この生まれ育った町に愛着があり、少しでも貢献できる事がないかと考えていたところ、同級生が既に入団していたこともあり消防団を知り、第八分団に入団することにしました。最初は右も左

もわからず、また自営業であることから消防団活動に十分には参加できません。団員の皆様に迷惑を掛けませんが、先輩団員に一つ一つ教えてもらいながら、団員として少しずつ成長できたかなと思っています。

近年、大きな自然災害が全国的に毎年のように猛威を振るっています。そして現在のコロナ禍も危惧されます。

我々消防団員は少しでも市民の力になれるように日々の訓練、活動を行わなければいけないと痛感しています。特に今年度は班長を拝命しましたので、今までも引き継いで頑張りたいと思います。また後輩の育成や新しい団員の発掘にも努めてまいりたいと考えています。

## 第九分団 団員 大坪 靖

私は二年前に竹内副分団長の紹介で入団させていただきました。

竹内副分団長とは昔から知り合いで消防団での活動を長い年数やられていることも知っておりましたが、敢えてその話題には触れずにいました。誘われると厄介だからというものが本音ですが、ある日、魔が差してその話題になった時について入団すると言っていました。

我が第九分団は、年齢層はさまざまですが、皆さん個性的な方ばかりで楽しく、中分団長のもと和気あいあいの雰囲気です。

しかし、いざ現場となれば厳しい顔つきに変わり、メリハリが強い緊張感に包まれます。

昨年は研修訓練にも参加させていただきました。毎月の定例訓練でも基礎知識や技術を教わっております。まだまだ、教わる機会が多いですが、一日も早く一人前の消防団員として活動できるように日々精進して参ります。



# 令和元年度消防表彰受賞者

表彰をお受けになられた皆様、それぞれおめでとうございます。

また、長年にわたって地域の安全のために御尽力いただき心からお礼を申し上げます。



<b>消防庁長官表彰</b> <b>永年勤続功労章</b> 団本部・副団長 吉村 秀人 (一名)	<b>大阪府知事表彰</b> <b>消防功労章</b> 第2分団・分団長 久保 義人 (五名) 第4分団・団員 北野 一郎 第5分団・団員 小川 陽一 第6分団・団員 中塚 基博 第6分団・団員 井上 計人	<b>日本消防協会会長表彰</b> <b>精績章</b> 団本部・副団長 吉村 秀人 (一名)	<b>大阪府消防協会会長表彰</b> <b>永年勤続章</b> 第4分団・分団長 辻 守 (三名) 第8分団・班長 荒川 貴士 第9分団・班長 佐藤 末廣	<b>勤続章</b> 第4分団・班長 松葉 博 (七名) 第4分団・班長 橋本 幸明 第4分団・班長 北野 貴英 第6分団・班長 藤原 正文 第6分団・班長 高橋 一馬 第9分団・班長 中 義久 第9分団・班長 西本 善生	<b>勤功章</b> 第1分団・班長 山崎 敏治 (七名) 第1分団・班長 南 英彰 第3分団・班長 大木 敏多 第4分団・班長 橋本 貴生 第4分団・班長 山本 貴文 第5分団・班長 藤原 隆明 第7分団・班長 仲野 正	<b>1級精勤賞</b> 第1分団・班長 山崎 敏治 (十二名) 第1分団・班長 南 英彰 第3分団・班長 大木 敏多 第4分団・班長 橋本 貴生 第4分団・班長 山本 貴文 第5分団・班長 藤原 隆明 第7分団・班長 仲野 正	<b>特別精勤賞</b> 第2分団・班長 西村 隆則 (三名) 第3分団・班長 大木 敏多 第6分団・班長 辻 仁	<b>和泉市消防団長表彰</b> <b>勤続賞</b> 団本部・副団長 田村 義人 (七名) 第2分団・分団長 久保 義人 第3分団・班長 川西 豪 第4分団・班長 井谷 昌義 第4分団・班長 北野 一郎 第5分団・班長 小川 陽一 第6分団・班長 中塚 基博	<b>和泉市消防団長表彰</b> <b>永年勤続功労賞</b> 第1分団・分団長 藤田 正彦 (四名) 第4分団・分団長 辻 守 第8分団・班長 荒川 貴士 第9分団・班長 佐藤 末廣	<b>2級精勤賞</b> 第1分団・班長 富尾 宝弘 (十三名) 第3分団・班長 石倉 哲之 第3分団・班長 高木 伸幸 第4分団・班長 井谷 昌紀 第4分団・班長 川谷 太一 第5分団・班長 天堀 秀行 第5分団・班長 池田 広治 第5分団・班長 飯坂 正俊 第5分団・班長 仲谷 竜一 第6分団・班長 池邊 重規 第6分団・班長 松原 繁 第6分団・班長 松田 正人 第8分団・班長 須田 勝利	<b>3級精勤賞</b> 第2分団・班長 味谷 義仁 (二十三名) 第2分団・班長 西森 聡 第3分団・班長 中辻 吉博 第3分団・班長 西辻 英典 第3分団・班長 山本 真也 第3分団・班長 山本 正秀 第3分団・班長 西川 彰人 第4分団・班長 寺下 敦弘 第4分団・班長 上野 博文 第5分団・班長 天堀 育大 第5分団・班長 大屋 晴彦 第5分団・班長 二葉 悟 第5分団・班長 山本 和男 第5分団・班長 古川 満貴 第5分団・班長 仲井 重徳 第6分団・班長 小林 浩史 第6分団・班長 高橋 篤男 第6分団・班長 金谷 雅史 第6分団・班長 奥村 雅史 第7分団・班長 庄田 大輔 第8分団・班長 山下 祐輔 第8分団・班長 中山 哲也 第9分団・班長 中瀬 孝正
--	---	---	---	--	--	---	--	--	---	--	--

## 令和2年度和泉市消防団入団者・令和元年度退団者

今年度は、訓練等多くの行事が新型コロナウイルス感染症予防のため中止となっています。今後の予定も変更の可能性が  
あります。



<b>入団者</b> 第2分団・団員 関戸 康之 (十六名) 第2分団・団員 宮脇 弘光 第2分団・団員 高橋 久夫 第3分団・団員 大向 仁 第4分団・団員 植林 勇一郎 第4分団・団員 玉村 良 第4分団・団員 藤原 弘道 第5分団・団員 西川 真司 第5分団・団員 成相 健治 第5分団・団員 佐々木 徳之 第6分団・団員 田中 宏征 第6分団・団員 前田 和秀 第6分団・団員 廣田 健心 第7分団・団員 吉野 剛 第9分団・団員 横田 英治	<b>退団者</b> 第2分団・団員 田中 隆 (十六名) 第2分団・団員 味谷 哲也 第2分団・団員 安本 照典 第3分団・団員 西川 正秀 第4分団・班長 井谷 昌義 第4分団・班長 松葉 博 第4分団・班長 稲田 富次 第5分団・班長 壺井 裕正 第5分団・班長 池内 俊貴 第5分団・班長 藤原 隆明 第6分団・班長 本田 大輔 第6分団・班長 松原 繁 第6分団・班長 高橋 和男 第7分団・副分団長 小林 耕太 第8分団・班長 西川 哲也 第9分団・班長 小西 貞次郎
--	--

お仕事をもちのかたわらの消防団活動となると思いますが、地域住民の熱い期待に応えていただき、訓練に実践にと力を尽くし心身ともに健やかなる団員として、これから頑張っていたきたいと思います。

お疲れ様でした  
 長年に渡り消防団活動に従事いただき、その間建物火災や防火啓発、年末夜警など、地域を守る取り組みを展開していただき有難う御座いました。心から敬意を表します。  
 和泉市消防団